

# 公開同朋会 ご案内

## INFORMATION

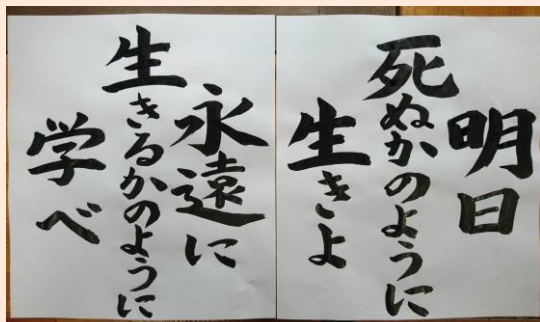
### 公開同朋会

日 7月14日(土)  
時 13:00 勤行  
13:20 住職法話  
14:15 前住職法話  
15:00 茶話会

場所 徳泉寺本堂  
持ち物 真宗勤行本  
(あれば) 念珠

全御門徒のみなさまにご案内している公開の同朋会。住職、前住職による法話の会です。ぜひお越しください。

## 今月のことば



マハトマ・ガンディーの言葉です。明日いのちが終わっても後悔しないように今日を生きたい。いつも問いを持ち続けていきたい、そう思われます。

## 境内の花々



## 同朋会コーナー

六月同朋会より

住職法話 『従果向因(じゅうかこういん)』

すべては「縁」によって起こる、このことを「縁起」と言います。物事には「因(原因)」があつてそこに「縁(条件)」があり「果(結果)」があります。その「因」も「果」もまた「縁」になるのです。また「従果向因」という言葉がありますがこれは「果に従いて因に向かう」とつまり結果から原因を探ることです。「今、私が聞法している」という結果はどうして起こったのか。近しい人の死であつたりこの地域に住んでいたりといったことかもしれません。この縁がたまたま私に仏教の教えを届けてくれたのです。

前住職法話 一部抜粋 『歎異抄第十八条』より

念仏集団が一つの組織を持つようになってきて、その教団の維持運営のために寄進を求めるといふことがあります。この寄進の多少によって大小仏になる、などという人がいます。が、これはもつての外、許しがたいことであり根拠のないことです。そもそも布施の多少で果報に多少があるというようなことは仏教における布施の本質をわきまえないものです。見返りを求めて布施をする、ということは人の欲望の延長線上の行為であり、自分勝手な我欲のかたまりの私があるだけなのです。念仏はどこまでも信心が要であり信心が不明瞭になって混乱すると、教義でもないものが教義のようになってしまうのです。

とくほう

『徳泉寺報』後記  
梅雨に入りました。はっきりしないお天気や乾かない洗濯物にゆううつになっていましたが畑にとっては恵みの雨。心持ちひとつで雨も楽しみになりました。